

# 第4回大阪府食の安全安心顕彰制度 大阪府知事賞

## 米虫 節夫（大阪市立大学大学院客員教授）

近畿大学農学部教授を経て、現在は大阪市立大学大学院客員教授の職にあります。

昭和41年から微生物に関する研究を行い、微生物制御、食品衛生等に関する論文（210以上）、著書（70冊以上）を執筆してまいりました。また、衛生に関する数々の学会活動に取り組み、種々の委員会等の役員を務めております。



近年は、教育、啓発、人材育成に力を注いでおり、特に、食品衛生管理システム「HACCP」や食品衛生に関する執筆・講演活動に取り組んでいます。

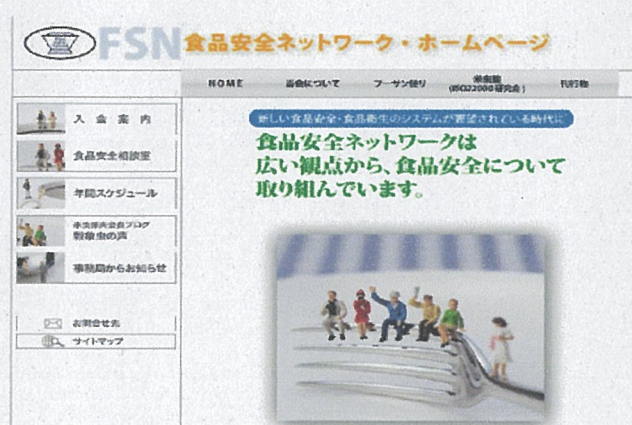
平成9年には、大阪を拠点として、食品産業を基本に会員間で異業種交流を深めることを目的として「食品安全ネットワーク（FSN）」を設立しました。現在、法人100社、個人90名の会員が在籍し、食品の衛生・安全に関する総合シンクタンクを目指して活動しています。企業サロン、講演会サロン、工場見学会などを2ヶ月ごとに行うとともに、年間4～5回の講習会などを行っています。

食品安全ネットワーク内の人材は、大阪府内の様々な食品安全の場面で活躍しています。

また、数々の刊行物を発行し、フードチェーンのあらゆる組織に対する要求事項である食品安全マネジメントシステム「ISO22000」に対応するマニュアルの研究等、衛生管理向上のための取り組みを行っています。



代表著作



食品安全ネットワーク

### 【講評】

食品安全、食品衛生に関する研究者として素晴らしい功績を挙げるとともに、教育者として人材育成に積極的に取り組み、多くの人材を育成した実績とその姿勢が高く評価されました。